

平成29年度 学校経営方針

京都市立静原小学校

京都市学校教育の重点 (京都市教育委員会)

目指す子ども像 伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども

学校教育の基本指針 ～確かな学力・豊かな心・健やかな体の調和のとれた育成～

平成29年度学校教育において重視する視点 子どもの主体性と社会性の育成を目指し、
「自ら学ぶ力」と「自ら律する力」を学校全体の教育活動の中で高める

静原小学校学校教育目標

よりよい生き方を実現しようとする子どもの育成
～学校・家庭・地域で育む自覚的実行力～

静原小学校目指す子ども像

- ・ しっかり聞き、しっかり表現できる子
- ・ 自分の目標を持ち、目標に向かって頑張る子
- ・ 心も体も大切にできる子

生き方探究・キャリア教育の視点で子どもの学校生活・社会生活を見直し、「子ども自身が自分のやりたいこと(主体性・自ら学ぶ)、やるべきこと(社会性・自ら律する)を見つけ、自覚し、積極的にやり遂げていく力」(自覚的実行力)を育成していく教育を展開する

静原小学校目指す学校像

- ・ 学校生活のすべてが学びの場となり、子どもが育ちあう学校
- ・ 教職員も子どもも共に自覚的実行力を発揮する学校
- ・ 今日も来てよかったと思える学校

静原小学校目指す教職員像

- ・ 子どもと共に歩み、学び育とうとする教職員
- ・ 目標を共有し、目標に向かって協働する教職員
- ・ 子どもから、保護者・地域から、教職員から信頼される教職員
- ・ 子どもの命、安全を守りきる教職員
- ・ 個性を生かしつつ組織の一員として組織力を強化できる教職員
- ・ 子どもの声を真摯に受け止め、理解し、やる気を引き出す教職員
- ・ 子どもの将来を見据え、子どものキャリア発達を支援する教職員
- ・ 自分の得意分野を持ち、その力で子どもを伸ばす教職員
- ・ 保護者・地域との対話を通して信頼される教職員
- ・ 自信を持ちつつも評価を活用して、教育活動の改善を図る教職員

◎目標実現に向けての行動

- 「個の見取り」をすべての教育活動の核に据え、個の見取りに基づくRPDCAサイクル(キャリア形成サイクル)を常に意識し、明確にした取組を行う
- 「個の見取り」の記録を蓄積し、事実・具体に基づく評価を行う